

2023 年度放射線授業事例コンテスト 放射線授業事例

タイトル	理科を軸とした教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントを通して、がん教育と放射線教育との連携を図る
対象（校種・学年）	中学校 2・3 年
教科・領域・単元	理科 2 年 放射線とその利用 3 年 科学技術と人間（放射線の性質） 体育 2 年 がんとその予防
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・がんは身近な病気であり、様々な種類があり、その種類や状態によって原因や発見のしやすさが異なることについて理解できるようにする。 ・がんは健康的な生活習慣を続けることである程度防げる病気であることについて、理解できるようにする。 ・がんと放射線の関連について、科学的に理解する。
授業での実践	<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
キーワード	がん・生活習慣・細胞・DNA・放射線・シーベルト
内 容	<p>近年、都市化、少子高齢化、情報化、国際化などによる社会環境や生活環境の急激な変化は、国民の心身の健康にも大きな影響を与えており、ストレスによる心身の不調などのメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、感染症など、新たな課題が顕在化している。その中でも、生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測される「がん」は重要な課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつある。また、平成 29 年 3 月に小学校及び中学校、平成 30 年 3 月に高等学校の保健体育の学習指導要領がそれぞれ改訂され、中学校及び高等学校においては、「がんについても取り扱うこと」を新たに明記され、中学校の全面实施（令和 3 年度）・高等学校の年次進行実施（令和 4 年度）に向け、学習指導要領の対応を検討する背景がある。</p> <p>今後さらなるがん教育の推進には保健体育のみではなく、がん化の仕組みなどを取り扱える理科での実践も検討していく必要がある。</p> <p>そこで、理科・体育間で教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントを通してがん教育と放射線教育との連携を図るために、カード・ボードゲームを利用し、楽しみながら学ぶことで、がんのメカニズムやがんのリスク、放射線とがんと関係の理解を深めることにも繋がると考えた。</p> <p>自作カード教材の使用にあたり、帝京大学客員教授・鈴木崇彦氏が開発した教材「情報カード演習：がんのメカニズム」をアレンジして授業事例を作成させていただいた。</p>
参考文献	文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説理科編』 文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説保健体育編』 文部科学省『文部科学省におけるがん教育の取組について』 文部科学省『がん教育推進のための教材』 薬師神芳洋『教員養成におけるがん教育の試み 教育学部「一貫教育・連携教育概論」における実践報告』 橋本 健夫, 谷口 一也 『小学校理科におけるがん教育教材に関する一考察』